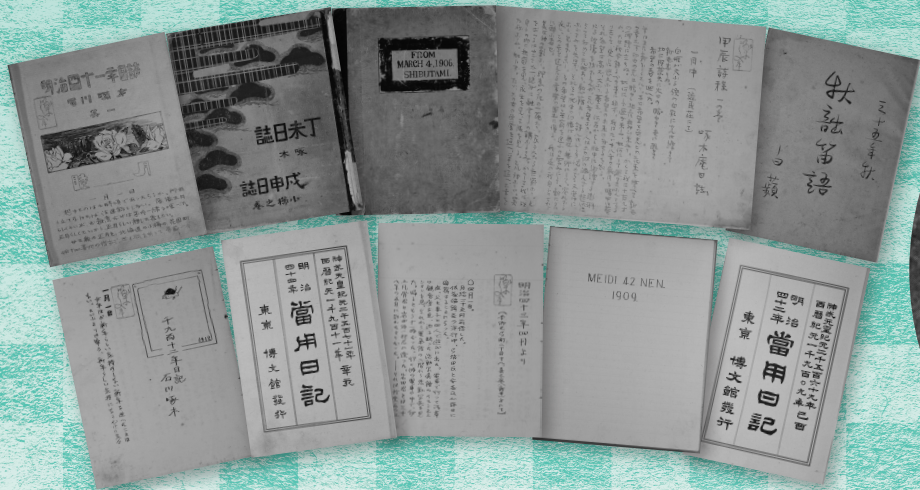




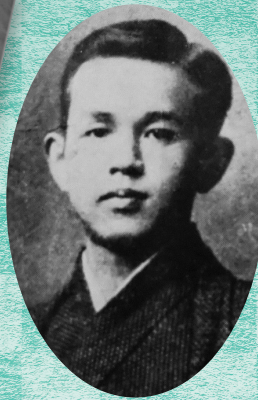
「啄木が焼けと申したんですけれど、

私の愛着が結局さうさせませんでした。」

(節子夫人の言葉～『石川啄木日記』第1巻所収「啄木日記と私」宮崎郁雨執筆より)



啄木日記 (函館市中央図書館啄木文庫所蔵)



# 「遺された啄木日記」

石川啄木生誕百四十年記念  
函館市文学館 石川啄木直筆資料展 特別展

石川啄木が、明治十九年二月二十日に岩手県南岩手郡日戸村(現盛岡市)で生まれて、今年で百四十年になります。病と貧困の中で東京小石川区久堅町にて二十六歳の生涯を終えた啄木ですが、短い生涯の中で、小説、詩、短歌、日記、評論、書簡等たくさんのお生きた証しを残しました。

その中の日記は、十六歳から書き始め、亡くなる二か月前までの十年の間に十三冊書き続けられました。啄木は、「自分が死んだら日記を燃やそうように」と言い遺しました。が、焼却、盗難、焼失等の危機に遭遇するも奇跡的な偶然と幸運を得て難を逃れ、現在も函館市中央図書館啄木文庫に大切に保管されています。今年度は、函館で守り遺されてきた啄木日記を一挙展示します。

会期 令和8年

4月11日(土) ▶ 10月6日(火)

〈館内整理休館日〉6月17日(水)、7月7日(火)・8日(水)、9月10日(木)・11日(金)

お問合せ 函館市文学館 TEL:0138-22-9014

## 展示資料

### 啄木日記

- 秋韻笛語 白蘋日録
- 甲辰詩程 一の巻 啄木庵日誌
- MY OWN BOOK FROM MARCH 4, 1906. SHIBUTAMI
- 丁未日誌 戊申日誌
- 明治四十一年日誌 其一、其二、其三、其四 (4冊1綴り)
- 明治四十二年当用日記
- NIKKI I: MEIDI 42 NEN, 1909
- 明治四十三年四月より
- 明治四十四年当用日記
- 千九百十二年日記



### 函館市文学館

函館市末広町22-5  
TEL (0138) 22-9014

入館料 一般:300円  
学生(小学生~大学生):150円  
※20名様以上の団体は2割引



【主催】公益財団法人函館市文化・スポーツ振興財団